

職人さん。

いの町のまちで会いましょう

第3話

2020.3月号

「好きな世界」でつながる、 時間も場所も超えて。

おおはら ゆき
大原夕貴さん (写真左)
にしがわ くみこ
西川久美子さん

ハンドメイド作家



外国へ飛んできたような、空想の森にさまよって来たかのような。魔法の呪文にも似た名前、ヴェロニカペルシカ。春に人家の近くで見かける小さな青い野草、オオイヌノフグリ。の学名から名付けられました。「電車着き」と呼ばれる路面電車の伊野駅からすぐの異空間、ハンドメイド作家が営む雑貨店です。

扉の向こうにいるのは、クリエイターの姉妹、大原夕貴さんと西川久美子さん。夕貴さんは5人きょうだいの長女で、久美子さんは次女。それぞれがブランドを持っていて、店長を務める夕貴さんの「ダニエル」と、久美子さんの「不思議工房路地裏」、それぞれの世界観が絶妙にブレンドされた空間となっています。アートな感性を、製品に仕上げ続ける職人気質の手仕事。夕貴さんは幼稚園の頃からひたすら絵を描き続けていたと言い、結婚して店を営む現在も、制作時間は1日平均8時間という強者です。二人とも県立岡豊高校の芸術コースを卒業し、夕貴さんは大阪のバンタンデザイン研究所でも学



オオイヌノフグリが入った耳飾り。

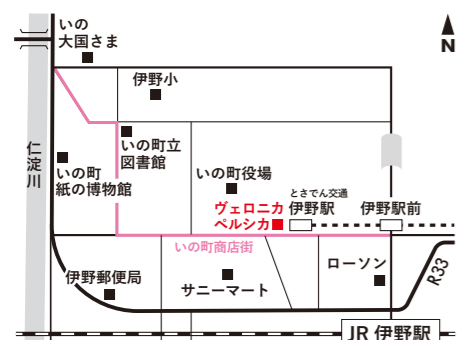
びました。赤いヒールの脚がスカートから出ているフィギュアや金魚のフィギュア、オオイヌノフグリの押し花を使ったアクセサリーなど、好きなモチーフに魂を込めて作品化しています。久美子さんが本格的に雑貨作りを始めたのは20代になってからで、和の作品では大衆演劇のファンに人気のあるお面などの装飾品を、洋の作品ではファンタジーのオリジナルキャラクターでキノコたちなどを定番にしています。県内外のハンドメイド系イベントへも積極的に参加し、個展やグループ展も数々。二人は、いの町へハンドメイド作家さんたちを呼びイベントを定期的に開催できたらと考えているそう。オリジナリティーを追求する趣味の雑貨だけに、ネット通販も多くなります。いの町にないがら、他のどこにもない秘密めいた魅惑的な世界とつながっている不思議さ。このお店をオープンした時のドキュメンタリーが、NHKの「人生デザインU・29」で放送されたり、SFアニメーション「彼方のアストラ」のオープニング曲でPVに久美子さんの作品が使われるなど、



緻密に作り込まれた久美子さんワールド。



プロフィール：いの町勝瀬出身の姉妹。高知県立岡豊高校卒業後、大阪からUターン。高知市内でのチャレンジショップを経て、2017年4月に現在地でオープン。



ハンドメイド雑貨 & セレクトショップ
ヴェロニカペルシカ

いの町新町 1704-5
営業 / 11:00 ~ 18:00
定休日 / 火曜・木曜・金曜
Eメール / veronica0pelcika@yahoo.jp
イベントなどで時間変更・不定休あり。
ツイッター・インスタグラム・ブログを確認を。

注目される存在になったヴェロニカペルシカ。久美子さんは主に樹脂粘土や紙で作品を作っていますが、「30代になったら、まだやっていない陶芸やガラスなどの素材にもチャレンジしたいですね」とのこと。夕貴さんが「新作で外国のおじいさんフィギュアを作ってみました」と見せてくれたのは、全身白で、ぽっちゃんりボディーに赤ストライプのブリーフ、頭部が薄くなった男性像。「型ができたので、これからキャラクターにしようと思って。」そこからキャラクター「でもこれ、途中で頭が溶けてなくなるんじゃない? 怖いでしょ」「大丈夫、きれいに燃えるようになるから。」ふふっと微笑む夕貴さんでした。「個性が欲しい人に向けて発信しています」という、これからの作品や活動が楽しみなヴェロニカペルシカ。自分の大好きな世界を外へ表現することをためらわず、感性と経営感覚を磨いて、ひとつ、またひとつ、ディーブな作品が生まれます。